



Thomson StreetEvents

コンファレンス・コール議事録

GE 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

開催日時：2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分（東部標準時）

所要時間：該当なし

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

会社側出席

ビル・ケアリー

GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ジェフ・イメルト

GE - CEO

キース・シェリン

GE - シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

コンファレンス・コール出席者

ジェフリー・スプレーグ氏

シティグループ - アナリスト

ディーン・ドレー氏

ゴールドマン・サックス - アナリスト

ニコル・パレント氏

クレディスイスファーストボストン証券 - アナリスト

アン・ドゥイグナン氏

ベアー・スターンズ - アナリスト

ピーター・ネズヴォルド氏

ベアー・スターンズ - アナリスト

ドン・マクドゥーガル氏

バンクオブアメリカ証券会社 - アナリスト

ボブ・コーネル氏

リーマン・ブラザーズ証券会社 - アナリスト

スティーブ・トウサ氏

JP モルガン - アナリスト

ジョン・インチ氏

メリルリンチ - アナリスト

スコット・デーヴィス氏

モルガン・スタンレー - アナリスト

プレゼンテーション

オペレータ

皆さん、こんにちは。本日は GE の 2005 年第 3 四半期収益に関するコンファレンス・コールにご参加いただきありがとうございます。現在、参加者の皆さんは聞き取りのみ可能となっています。私は、レイチェルと申します。本日の会議のコーディネーターです。（オペレータの指示）なお、この会議は録音されています。では、本日の会議主催者、インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント、ビル・ケアリー氏に進行をお願いします。

ビル・ケアリー - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

レイチェル、ありがとう。皆さん、おはようございます。弊社の第 3 四半期コンファレンス・コールにご参加いただきありがとうございます。本日、この会議を開催できたことをジョアンナも私も大変嬉しく思っています。今回の会議はウェブキャストですので、資料は www.GE.com/investor でご覧いただけます。これからご紹介するスライドをダウンロードしたり、資料を印刷してお使いいただけます。スライドが表示されない場合は「更新」ボタンを押してください。スライドは、もうアップロードされています。

これまで同様、今回のプレゼンテーションは将来の予測であり、世界情勢や弊社の事業に関して、私たちが最も適切と考える見解に基づいたものです。もちろん、これらは世界の変化と共に変化しますので、私たちのコメントについてはそのように解釈してい

ただきたいと思います。今朝は、第 3 四半期の業績についてお話しします。第 4 四半期の展望についてお知らせして、いつものとおり、最後に質疑応答の時間を設けます。今朝の会議には、CEO のジェフ・イメルト、シニア・バイス・プレジデント兼 CFO のキース・シェリンも参加しています。ジェフ、始めましょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

ビル、ありがとう。皆さん、おはようございます。早速、第 3 四半期の業績から始めます。この四半期も好調でした。弊社のビジネス・ファンダメンタルズは引き続き上向きです。第 3 四半期も引き続き受注額は増加しており、全社で 11%増加しています。資産の質も安定しており、全社的にきわめて堅調に安定した事業が実施されています。

第 3 四半期の財務実績については、8%の売上内部成長率を達成しています。総収入は 9%上昇して、420 億ドルとなっています。利益は 15%増で 47 億ドルとなりました。EPS（1 株あたり利益）は、16%増の 0.44 ドルです。営業利益率は、この四半期に 1.3 ポイント上昇しています。CFOA（営業活動からのキャッシュフロー）も非常に堅調で 51%増加、インダストリアル事業の CFOA は 20%上昇して 92 億ドル、キャッシュ・パフォーマンスが堅調なため、今年は株式買い戻しを 40 億ドルを超えて増加させました。

成長に関するイニシアチブは、引き続き実行し、加速していきます。サービス事業は 9%上昇、CSA 受注残は 830 億ドルになりました。この四半期、弊社の成長プラットフォームは 24%上昇し、アメリカ国外での収益は 16%成長しています。したがって、イニシアチブに関しては全般的に堅調です。

第 4 四半期について、また通年でも、8%の内部成長率を見込んでいます。EPS は、1.81 ドルから 1.83 ドルに上方修正しています。第 4 四半期にはインダストリアル事業の収益成長率は 10%と考えています。引き続き、CFOA も 200 億ドルと 25%を超えてきわめて堅調に推移し、業務計画を上回ると考えています。業績は堅調であり、第 4 四半期と通年に関して、私たちの見通しでは非常に健全に展開していくと考えています。

次のページには獲得顧客の一部を示しています。セグメントの詳細については、キースが説明します。テクノロジーを通じて、インフラストラクチャーで引き続き、契約を獲得しています。Joint Strike Fighter の契約も獲得しましたが、これは長期的なビジネスになると考えています。コンチネンタル航空の 787 購入に関してエンジンで指名を受けており、インフラストラクチャーの技術面で、引き続き、堅実な成長が見込まれます。

ヘルスケア事業は、情報技術の分野に進出しています。IDX の買収に合意しましたが、これは急速に成長しているセグメントでの業務拡大につながると考えています。コマーシャル・ファイナンス事業では、資産が順調に成長していますが、同時に、保険戦略も継続して実行しており、ジェンワース株式の売出も完了しました。コンシューマー・ファイナンス事業も世界的に引き続き拡大しています。韓国でも弊社の位置付けが上がっていることを嬉しく思っています。Garanti の株式の 25%購入に関する同意書に署名していますが、これはトルコでの GE の地位向上につながると考えています。フィリピンでも拡大がみられ、世界中で、引き続き成長が見込まれます。

この四半期、インダストリアル事業は、特に好調でした。中国でのプラスチック事業は 61%成長しています。利幅率も拡大しており、セキュリティ事業も非常に好調で、家電への投資の増加が成果を上げていることは、利幅率でもおわかりかと思います。

NBC ユニバーサル映画も好調です。「The Today Show」は引き続き業界をリードしており、この番組のハリケーンに関する報道は大変素晴らしいもので視聴率も上がっています。この四半期は大きな契約獲得が多数あり、この勢いは今年全体続くと考えています。内部成長を促進するという大きなイニシアチブについて、弊社は 8%という目標を達成しました。また、私たちは常に成長を推進するとは重要なイニシアチブに集中することであり、重要なイニシアチブはすべて実現しています。製品サービスの売上は 9%上昇しました。サービスの受注残も増加しており、サービス事業全体で広範に渡って業績を上げていることを大変嬉しく思っています。

弊社は、成長プラットフォームを引き続き実現していきます。セキュリティと水関連事業は、買収と内部成長の両方を原動力として拡大しています。この四半期、オイル&ガスの受注は大きく伸び、収益成長率も上がっています。これらのプラットフォーム全体で 9%の内部成長率を見込んでおり、これまでに話してきたとおり、会社全体の成長を加速させることでしょう。

グローバル化も引き続き拡大してきました。世界全体の収益は 16%増加しており、中核事業は 2 倍前後で、中国、アジア、ヨーロッパなど世界各地で成長しています。技術面での飛躍的な進歩も継続すると思われ、この点で追加成長も見込まれます。たとえば、精炭、発展途上国でのコンシューマー・ファイナンスに関する技術面での飛躍的な進歩などが挙げられ、いずれも実績を上げています。では、第 3 四半期の財務状況と今後の展望についてはキースに説明してもらいます。キース、よろしく。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

ジェフ、ありがとう。まず、受注についてお話しします。引き続き、受注は好調です。左側に主要な機器の受注の概要を示しています。ここで大きな「V」は全体を示しています。主要な機器の受注はこの四半期で 16%上昇しました。大型機器の受注が若干鈍っていますが、受注レベルは高く、第 4 四半期も平均を上回っており、これは折れ線グラフに示されています。移動平均は 69 億ドルで、前年比で大きく成長しています。

中央に示されているサービスも引き続き成長しており、この四半期で 13%成長しています。事業全体で成長しており、第 4 四半期の移動平均は 69 億ドルです。これは素晴らしい結果でした。右側はフローの受注額です。事業ごとに示していますが、この四半期で 5%です。これは第 2 四半期と一致しており、9 月は 5%平均という事業ごとの割合とよく一致しています。この四半期のフローの受注額は 56 億ドルということになります。

四半期全体の受注額は 192 億ドル、11%の成長で、ポートフォリオ全体に大きく弾みをつけています。

次に、ポートフォリオの質について簡単にふれておきます。ここでは 2 つのデータをご紹介します。まず左側は 30 日以上延滞債権です。コンシューマー・ファイナンスの延滞債権を見ると、イギリスの担保付きポートフォリオに若干後押しされ、信用の質は高くなっています。ただし、世界的に見れば、ポートフォリオのこれ以外については、横ばい、またはわずかに下降しています。北米では、弊社のポートフォリオの大部分に関して、延滞債権は約 20 ベーシスポイント低下して、4.5%となっています。これは非常に良い状態だと言えます。

コマーシャル・ファイナンスの延滞債権は、実際、下がっています。前年比と前四半期比をご覧ください。コマーシャル・ファイナンスで収益の上がない資産は減少しています。この四半期は航空機 3 機を導入して終了しました。地域で利用されるジェット機をまもなく数機導入する予定ですが、全体として、ポートフォリオの質は非常に良好です。

右側に示されている稼働率は引き続き非常に高く、エクイップメント・サービス事業全体で 87%です。Penske railcar（不明）trailers の数字も見ただけです。今は、国内で製品やサービスを移動させるための機材を確保するのが難しくなっています。このため、堅調で安定したポートフォリオと稼働率で、引き続き、弾みをつけてくれるでしょう。

次のページで会社の経営状態について少しご説明します。世界的なボラティリティについてお話しします。左側を見ると、エネルギー費が上昇していることは明らかですが、ではどうすべきでしょうか。私たちは利益幅を守ります。これまで、値上げを検討してきました。1 年以上にわたって、高騰する投入原価に対処してきた結果、弊社の事業は市場で回復を示しています。プラスチックと家電に関しては、これが成功しています。生産性も上がっています。チームは常に原材料費の削減と組織の簡素化に取り組んできましたが、第 3 四半期を見ると、弊社の価格は原材料の高騰から受ける圧力の相殺分以上に上昇しており、この四半期の合計は 5900 万ドルになっています。現在、この状況に対処しており、業務を通じて、ポートフォリオ全体が回復だけにとどまらず改善されつつあります。

この 2 番目の部分は非常にうまくいっています。弊社は、世界で最もエネルギー効率の良い製品を提供しています。ここには大きな需要があります。たとえば、60%の効率で稼働する H タービンや、2006 年まで完売している EV0 機関車を見てください。非常に燃費の良い、新しい GEEnx エンジンにも大変期待が持てます。弊社は収益の得られる方向性にも向かっています。オイル&ガスの受注も伸びています。第 3 四半期は 55%上昇しました。主要機器は 16%上昇しており、スタッフの再配置と人数の再調整を行っています。ポートフォリオ全体での受注をエネルギーの豊富な地域で見ると、オイル&ガスは 106%上昇、ヘルスケアは 49%、航空事業は 28%上昇しており、この傾向が続くと予想しています。私たちはエネルギー費が高騰している期間を乗り切る方法を知っていますので、株主に有益な方法で業務を行っています。

右側についても同じです。利率が上昇していることは誰もが知っていますが、私たちがすべきことは、実績のある方法を死守することです。社内で調和の取れた資金調達ができることが要件であり、これは弊社のリスク管理の中心となる信条です。弊社はトリプル A の格付けを持つ企業であることを誇りに思っています。弊社は株主資本利益率を上昇させるために資本を使っており、ポートフォリオ全体での多様化、世界的な多様化、多様な製品ラインが必要だと考えています。グラフの変化を見ていただければ、短期的な率は上がっていますが、コンシューマー事業については、リスク調整後のスプレッドは横ばいで、コマーシャル事業でのリスク調整後のスプレッドは増加していることがわかりいただけるかと思います。これもボラティリティの一例であり、オペレーティング・チームは株主の利益を最優先しています。この方針と事業目標により、弊社はこの環境でも契約を獲得しています。

四半期の話に戻しましょう。実績はプレスリリースでご覧になっていると思います。すばらしい四半期でした。収益は 9%増の 419 億ドルです。インダストリアル事業の売上は、3%増で 216 億ドルとなりました。2004 年アテネオリンピックの影響を考慮して調整すると、8%上昇ということになります。昨年の夏のオリンピックで約 9 億 3000 万ドルの売上を達成しましたが、これは 1 回限

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

りの数字ですから、これを調整すると、売上の成長は 8%ということになります。金融サービスの収益は 16%上昇しています。47 億ドル、15%上昇と、大きな利益の上がった四半期でした。1 株当たり利益も 0.44 ドルと 16%の上昇を達成しました。ジェフがキャッシュ・パフォーマンスの好調さについて報告してくれましたが、次の数ページで詳細をご説明します。全体で 147 億ドルという営業活動からのキャッシュフローは、51%の上昇です。この四半期の税率は予想通り 25.1%で、インダストリアル事業については 5.3 ポイント上昇しています。基本的に、2004 年の IRS や GE キャピタルとのサービス率に関する優遇措置に匹敵する要素はありません。第 3 四半期には 20.1%上昇しています。

航空機リース事業の再編による利点も、引き続き実現させていきます。税率に関する通年予測については、期初から第 3 四半期末までの税率は 25.2%で、インダストリアル事業については 5 ポイント以上、資本については期初から現在までの税率は 18.6%です。これが現時点の状況です。これまで常に取り組んできた税金に関する計画をさらに進める必要があります。この四半期の素晴らしい業績については、これからさらにご説明していきます。

次のページは第 3 四半期のセグメント別業績です。ここでは 6 つの事業に基づいた要約を示しています。これまでにご説明した通り、6 つの事業すべてについて、この四半期に二桁の営業利益の成長が報告されています。ここではすべてのご説明はしませんが、チームの素晴らしい努力の結果がこの詳細に示されています。次の数ページでそれぞれのセグメントについてご説明します。

幅広く堅調です。キャッシュフローも素晴らしい状態です。第 3 四半期の期初から現在までのキャッシュフローが左側に示されています。昨年、第 3 四半期は 97 億ドルでした。147 億ドルに上昇しています。GE キャピタルからは 2 つの方法で利益を得ています。まず、配当率を 40%に戻したことです。これは素晴らしいことです。ですから、第 3 四半期全体について言えば、55 億ドルの中の約 29 億ドルということで、ジェンワースの収益から 26 億ドルの配当も受けていますから、期初から現在までに 55 億ドルを獲得していることになります。

インダストリアル事業で言えば、期初から現在までで 92 億ドルになっています。20%の上昇です。弊社は純利益をキャッシュにうまく組み入れており、この四半期と通年見通しの余剰現金で株式買い戻しを予測の 30 億ドルから 40 億ドルに増加しました。第 3 四半期には 15 億ドル、第 3 四半期の期初から現在までで 22 億ドルの買い戻しを行っています。第 4 四半期には 18 億ドル以上の株式買い戻しを予定しています。

右側の現金残高については、これからご説明します。年初は 32 億ドルでした。ページの左側から実現した CFOA は 147 億ドルです。70 億ドルの配当を支払っています。22 億ドルの株式買い戻しを行いました。P&E は現在までで 16 億ドルです。約 35 億ドルの買収を行っており、負債額は若干下がって合計 3 億ドルです。つまり、9 月の現金残高は 32 億ドルで純負債高は若干下がっています。このようにキャッシュフローは素晴らしく、今後のキャッシュフロー生成に関する見通しは明るいと考えています。

資本配分に関して少しご説明しておきます。ここに挙げられている 2 つのデータを見てください。まず、左側は増加資本に対する増加収益です。基本的に、これが弊社の総資本利益率に関する今後の変化の主な指標となります。この数字は非常にシンプルで、税引き後の純営業利益の変化を総資本の変化で割った数字です。これで昨年から今年にかけての成長がわかります。50%以上の成長です。今年の予測については、私たちの ROTC は 16%です。これが主な指標です。増加資本に対して、これらの増加収益を実現してきましたが、総資本利益率については 2008 年までに 20%まで上昇すると考えています。

二桁の利益の成長と株式買い戻しを加速させてこれを支援し、さらに、インシュアランス事業に関するこれまでの戦略を継続していきます。先週お話しした通り、インシュアランス・ソリューションからの出口により焦点を当てていきます。これは、ジェンワースやその他のインシュアランス・ソリューションの場合と同じように、より高い ROE を目指した配置転換のチャンスを与えてくれるでしょう。

右側はフリーキャッシュフローです。営業活動からのキャッシュフローに配当と設備投資を加えた、シンプルな内容です。昨年、フリーキャッシュフローは約 50 億ドルでした。今年は約 80 億ドルに増加していることに加えて、40%の配当率を達成することで、基本的に GE キャピタルから成長を達成しつつあります。インダストリアル事業からのキャッシュフローの成長により GE から成長を達成しており、今年は配当が増加しています。利益に即して配当を増加させるべく準備し、努力しています。株式買い戻しの資金調達にも成功しています。150 億ドルの計画を進めています。年間 40 億ドルから 50 億ドルでインダストリアル事業の買収を計画していますが、これは金融サービスの成長による利益剰余金で自己資金調達ができた後ということになります。現金によってこれまでより財政的に柔軟性が高まったというのは大変素晴らしいことで、この展望を大変嬉しく思っています。

事業についてお話す前に、第 3 四半期の業績についてご説明してきたのと同じように、事業の動因は何であったかと第 4 四半期の展望についてお話ししていきます。これが第 4 四半期の全体像です。第 4 四半期の全体像は、第 3 四半期について見てきたものと一貫しており、最も重要な事業は堅調に成長しており、利益（聞き取り不能）「V」も好調です。次の数ページで、それぞれの事業について見ていきますが、ここでいくつか指摘しておきたいと思います。

まず、ポートフォリオ全体で、営業利益は堅調に二桁成長を達成しているということです。これから NBC の事業についてお話しします。次に、第 4 四半期の展望について見ていただくと、コマーシャル・ファイナンスの業績は収益で 20 低下していることがわかりかと思えます。ただし、先週、お話しした通り、ジェンワースについては、株式を売却し、持ち株比率は 52% から 27% に下がっています。これは、経営分割の結果です。今後、ジェンワース・フィナンシャルについて、弊社の財務諸表では 27% という持ち株比率に対して発生する収益のみを計上します。つまり、基本的に、今後ジェンワースから収益は得られないということになります。コマーシャル・ファイナンスへの影響はなく、収益については 10% 程度増加するかと思います。

もう 1 つ NBC について指摘しておきます。ネットワーク局でのプライムタイムの視聴率という圧力は引き続きありますが、これは NBC のページに進んだときに詳細をお見せします。このように全体として、第 4 四半期は非常に堅調でした。右側は会社全体に関する展望です。収益予測は約 440 億ドルで 5% 上昇しています。インダストリアル事業の収益は 10% 上がっており、大きな成長を遂げています。利益は 59 億ドルから 61 億ドルに上昇しました。「V」は 6 から 9 になっています。昨年、第 1 四半期に FAS 133 に関する修正を行い、第 4 四半期に 2 億 5000 万ドルの純利益を追加しました。ですから、修正前に営業収益 (operating Vs) は利益と 1 株当たり利益両方について 10% から 14% に上昇しました。これは、通年の、潜在的な成長とも一致しています。このように第 4 四半期の EPS の見通しは通年の下限を押し上げており、第 4 四半期は 0.56 ドルから 0.58 ドルに上方修正されています。

では、それぞれの事業について見ていきましょう。まず、インフラストラクチャーについてお話しします。インフラストラクチャーは、この四半期全体を通じて堅調でした。収益は 100 億ドルを超えています。これは 12% の上昇で、セグメントとしての利益は 17% 上昇しています。左下から、重要な事業の業績を見ていくと、航空機部門の収益は 13% 上昇しており、セグメントとしての利益は 17% 上がっています。航空事業は引き続き好調で安定した成長が見込まれます。この四半期の受注は 25% 上昇しています。収益も 13% 上昇しています。これは両方の商用エンジンによるものです。サービスだけでなく、昨年の 323 台から 371 台に増加しています。サービスの収益は 7% 上昇しています。Garrett の譲渡を除くと、12% の上昇となります。17% という営業利益の成長は、価格の改善、デフレ、この事業の優れた生産性によるものです。全体的に素晴らしい結果でした。

この四半期、航空関連の金融サービスも非常に堅調でした。1 億 9500 万ドルの利益を達成しています。税制上の優遇措置のところでもお話ししましたが、この事業は American Jobs Creation Act の恩恵を引き続き受けており、ノースウエストの破産の際に計上した 9800 万ドルの準備金で、この四半期に一部相殺されています。また、このセグメントでは、昨年に比べて、税引き後で約 5000 万ドルと、若干、減損費が増加しています。全体として、ヘンリーとヘンリーのチームにとっては素晴らしい四半期でした。

次はエネルギーですが、引き続き堅調です。一番上のラインでは 8% 上昇しており、営業利益は 6% 上がっています。出来高は 17% 上昇しており、価格圧力で約 8% 下落しています。一番上のラインではこのような動きがあり、サービスは非常に堅調でした。収益は 10% 上昇し、営業利益は 11% 上昇しています。ここではもう少し期待していましたが、台数では予測に届きませんでした。ガスタービンは 6 台ほどが第 4 四半期に持ち越されており、風力発電の第 4 四半期への持ち越しは、私たちの予測より 200 台弱少なくなっています。これにより、年度末前に若干のチャンスがあるかと思います。

エネルギーについて見ると、この四半期、金融サービスは堅調でした。オイル&ガスの投資パートナーシップで確実に利益を上げており、オイル&ガスは素晴らしい四半期でした。収益は 15% 上昇、営業利益は 9% 上昇し、市場でも好調でした。エクイップメントとサービスの成長については、第 3 四半期の受注は 55% 上昇しています。エクイップメントは 75% 上昇し、サービスは 33% 上昇しています。受注額は 11 億ドルを超えており、第 4 四半期を前にして、非常によい位置付けになっています。

鉄道事業にとっても良い四半期でした。堅調な動きが見られます。2006 年分まで売り切れており、EV0 機関車 178 台を出荷しています。サービスも堅調です。営業利益は、収益成長に若干遅れをとっています。EV0 関連費用と若干の商品インフレについても引き続き対処していきます。この事業では受注残が大量にあり、サービスは非常に良い位置付けになっています。

インフラストラクチャーのセグメントで残っているのが水処理事業です。この四半期はハリケーンの悪影響を受けました。収益は 35% 上昇しています。これは Ionics の買収によるもので、良い業績を上げていますが、営業利益は前年比で約 400 万ドル下落しています。この地域の顧客に関するハリケーンの影響があったということですが、この事業については、買収による統合費用に投資を継続してきました。このセグメント全体を見て、第 4 四半期を考えると、コマーシャルの影響により航空事業は引き続き堅調と考えています。軍事関連は、まだ若干軟調です。エナジー事業は 10% から 50% と非常に好調です。真の推進要因になるのは、25% を超える上昇を示しているサービスであると思われます。昨年の同四半期に比べて、5 台から 6 台がガスタービンにシフトしており、風力発電は第 4 四半期にかなりの上昇が見込まれています。

天然資源に関連するサービスについても素晴らしい四半期でした。ガスも大量の受注残で素晴らしい四半期で、収益も営業利益も共に 20% 以上上昇しています。鉄道事業は EV0 の出荷とサービスの成長により、大きな展望が開けています。セグメント全体の第 4 四半期の見通しとして、セグメントの利益は約 15% の上昇と考えています。

次に、コマーシャル・ファイナンスについてご説明します。この分野は、すばらしい四半期でした。このセグメント全体の結果を見ると、インシュアランス事業も含めて、マイク・ニールの担当がすべてここに含まれています。収益は 16% 上昇、セグメントの利益は 28% の上昇、資産は 22% 下落しています。統合されたセグメント全体での資産の数も、ジェンワースの分割によるものです。コマーシャル・ファイナンス事業の資産は、4% 上昇しています。弊社では第 3 四半期末に、ジェンワース分割に伴い、830 億ドルの資産をバランスシートから除きました。

コマーシャル・ファイナンスの「V」と ex insurance を見ると、収益は 9% 上昇、セグメントの利益は 19% 上昇と素晴らしい四半期でした。成長の要因には、以下が挙げられます。まず、キャピタル・ソリューション事業は 4 億 4000 万ドル、利益が 400 万ドルで 26% 上昇、不動産事業は 3 億 4300 万ドルで 40% の上昇です。キャピタル・ソリューションについては、事業セグメント全体について引き続き成長を見込んでいます。取引量は堅調で 30% 以上上昇しました。中核事業が大きく成長し、損失が減っています。Citi Cap（聞き取り不能）とボンバーディアの買収からはあまり利益は得られませんでした。資産は 9% 増加し、このセグメントでは良好な経済活動を予測しています。

不動産のポートフォリオにも引き続き対処していきます。資本比率が低いことを利用しているため資産は減少していますが、全体的に取引量は堅調です。50% を超える上昇であり、350 億ドルを超える資産で第 4 四半期に向けて良い位置付けにあります。インシュアランスの純利益は 2 億 3900 万ドルですが、実際、ここには 2 つの要素があります。まず、インシュアランス・ソリューション事業がハリケーンの影響を受けたことが挙げられます。先週、カトリーナとリタの影響による費用は、税引き後で 3 億 7700 万ドルと発表しました。カトリーナについては、弊社のモデリングで 400 億ドルの産業上の損失と考えられています。弊社は、個人に対する被保険の金額に限界を設けています。洪水に対する保証はありません。この点については管理しており、あらゆるリスクを検討してきましたので、この四半期で、状況を把握したと考えています。幸いなことに、ジェンワースの売却による二次的利益で、一部補填できました。株式売却により、保有率は 52% から 27% に低下し、税引き後の利益は 2 億 5400 万ドルとなりました。この四半期のインシュアランス事業を見ると、1 億 2000 万ドル増加しています。基本的に、インシュアランス・ソリューションの追加損失は、この四半期のジェンワースによる特別利益で補填しています。

このため、第 4 四半期の動きについては、キャピタル・ソリューション全体で 10% から 15% の上昇と、引き続き広範に渡る成長が見込まれ、この事業分野では堅調な経済活動を予測しています。不動産は 20% 以上乗しており、引き続き、ポートフォリオを管理し、第 4 四半期もインシュアランス戦略を引き続き推進していきます。

このセグメント全体の利益については、20% 以上上昇するだろうというのが、弊社の第 4 四半期の展望です。次はインダストリアルですが、この分野については非常に素晴らしい四半期でした。チームはここにいます。収益は 8% 上昇しており、セグメントとしての利益は 56% 上昇しています。コンシューマーとインダストリアルは、引き続き非常に好調で、収益は 3%、セグメントの営業利益は 20% 上昇しています。原材料の高騰を超える値上げを行うことができ、このセグメントでは約 4000 万ドルプラスになっています。モノグラムの 17% 上昇により、ハイエンド向け家電では引き続きシェアを獲得しています。ローエンド向けでは価格とのトレードオフになっているため、全体では約 1 ポイントのシェアを失っています。

このセグメントでの利益の成長は、主としてインダストリアルによるもので、世界的に素晴らしい業績を示しています。アジアの（不明）インダストリアルは 40% 上昇しています。大型モーターは 20% 上昇、家電事業は営業利益で約 9% 上昇しています。この分野にとって良い四半期でした。プラスチックについては、非常に素晴らしい四半期でした。営業利益は 1 億 300 万ドル増加しています。引き続き、原材料の高騰に対処するために行った価格設定の措置の恩恵を予測しています。

この四半期については、収益価格は約 20% 上昇し、取引量は約 8% 減少しています。ここでも引き続きボラティリティーに対処しています。ベンゼンは 1 ガロンあたり 2.83 ドルで昨年比で下落していますが、引き続きボラティリティーがあると予測しています。10 月には、1 ガロン 3.10 ドルで決済しています。引き続き、ボラティリティーがあると予測しています。プラスチック事業について最も良いニュースは、取引量です。第 3 四半期のトンに基づいた受注量は昨年並みで、1 日あたり約 5500 メートルトンです。これは Pacific の 19 ポイント上昇によるもので、自動車は約 9 ポイント減少していますが、ポリマーが上昇してこれを相殺しています。受注残は 2 万メートルトンを超えて伸びており、2004 年第 3 四半期以来、初めて受注残が 10 万メトリックトンを超えました。このように私たちは現在の位置付けを嬉しく思っています。

エクイップメント・サービスは 3500 万ドルを超える上昇で、収益が 6600 万ドルを超えるという四半期になりました。より高い稼働率、航空機管理の利点、セキュリティなどすべてについて、素晴らしい四半期でした。収益は 99%、営業利益は 100% を超えて上昇し、買収も中核事業も成長しています。このセグメントについて第 4 四半期を考えると、受注率が好調な収益の成長を支援すると考えています。この四半期の合計受注は 8% 上昇しています。C&I は 20% を超えて上昇するでしょうし、プラスチック事業は約 15% を超える上昇を見込んでおり、価格は引き続きインフレを上回って（聞き取り不能）上昇すると考えています。プラスチックについては、第 4 四半期は厳しくなります。昨年はその時に取っていた価格行動の利点を私たちが認識し始めた最初の四半期で

したが、堅調な稼働率が続いていれば、エクイップメント・サービスは素晴らしい四半期だったはずです。全体としてこのセグメントの展望は、20%を超える上昇となっています。

次にヘルスケアですが、ヘルスケアも素晴らしい四半期でした。収益は 7%上昇しており、セグメントとしての利益は 17%上昇しています。営業利益率は 15.1%から 16.5%に上昇しています。利益率も拡大しています。受注も拡大しています。事業全体の受注は 8%増加しました。テクノロジー事業については、エクイップメントの受注が堅調で、全体で 9%増加しています。VCT は非常に好調で 39%増加しています。VCT 製品は需要が増加しています。四半期の受注は 300%を超えて増加しており、四半期で 160 台を超え、期初から現在までの受注残は 440 台を超えています。超音波装置についても 18%増加と素晴らしい業績で、世界的に若干軟調で約 5%減少した MR 機器を相殺しています。

ヨーロッパとアジアは引き続き堅調です。ヨーロッパのテクノロジーの受注は 11%上昇しています。中国の受注は 10%上昇しており、日本の受注も 17%増加とバイオサイエンス事業にとって素晴らしい四半期でした。医療診断に関する収益の成長は 10%、蛋白分離が 16%上昇しており、サービスも引き続き実施されます。このように、私たちは四半期業績について全般的に満足しています。次の四半期の展望についても、バイオサイエンスとサービスの堅調さを受けて営業利益は 20%以上上昇し、引き続き幅広くエクイップメントも成長すると考えています。

右側はコンシューマー・ファイナンスです。この事業も堅調でした。「V」を見ると、収益は 22%増加しており、セグメントとしての利益は 19%増加、資産は 25%増加しています。このチームは世界的に中核事業の成長の恩恵を受けています。このセグメントでの利益の成長は、中核事業の成長によるもので 1 億ドルを超えています。買収の約 4000 万ドルは、証券化の費用が約 2000 万ドル少なかったため、一部相殺されています。このように中核事業は全体的に堅調です。数字でもおわかりいただけるかと思います。アメリカの資産は堅調に上昇しています。中核事業の成長により、純利益も上昇しています。アメリカ国内の弊社ブランドのクレジットカード事業だけでも、46 ポイント V のうち 25 ポイントを占めています。ヨーロッパの資産は引き続き成長しており、純利益は 11%上昇しています。東ヨーロッパ、フランス、スペインでも堅調で、イギリス市場、特にイギリスのセキュリティ（技術的問題で聞き取り不能）は特に軟調ですが、これを相殺してあまりあるほどです。アジアの資産は 70%増加しており、純利益は 15%上昇しています。ヒュンダイとのパートナーシップのような買収については、引き続き非常に好調で、オーストラリアでの Apeg（不明）の買収もうまくいっています。

チームは、しっかりしたリスク管理を非常に重視しており、第 4 四半期の展望のとおり、引き続き世界的に資産が成長しており、リスク管理も適切に行われていることから、純利益は 20%を超えて上昇すると考えています。

では、NBC についてまとめます。NBC にとって良い四半期で、ユニバーサル統合の恩恵が示されています。収益は 26%減少しています。ここでも、夏のオリンピックがあり、9 億 3000 万ドルの収益のあった昨年の四半期と比較しなければなりません。下落のうち約 4%は、この影響によるものです。セグメントとしての利益は映画の業績が良かったことから、13%上昇しています。映画については、収益はほぼ横ばいですが、この四半期に公開された映画については同様の数字ですが、利益幅が高かったため、営業利益は約 5000 万ドルになっています。ここでも素晴らしい業績でした。

ニュースも非常に好調です。「The Today Show」は視聴率を上げています。CNBC については、新しい番組編成と受信料が上がったことで、営業利益も増加しています。エンターテインメント関連のケーブルテレビの成長を引き続き見込んでいます。ネットワーク局のプライムタイムについては厳しいサイクルでしたが、秋のラインアップを見ると、進歩していると思われます。最初の 3 週間、成人 18 歳から 49 歳の統計でトップ 20 に挙げられる番組のうち 6 番組を占めており、ばら売りのマーケットは第 2 四半期より向上しています。ばら売りのマーケットは第 3 四半期については 7%低下しています。これが現在までの改善点であり、これらの動きに対処して今年を終え、来年に向かっていくことになります。

チャートの下半分では、NBC ユニバーサルのさまざまな収益構造の詳細が示されています。左側を見ると弊社の営業利益の約 30%がプライムタイム、テレビ局、テレビ制作によるものだというのがおわかりいただけるかと思います。（聞き取り不能）ネットワークです。第 3 四半期を見ると、弊社の営業利益の約 30%がこの分野でしたが、これは約 11%減少しています。その他の 70%の事業はうまくいっています。つまり、ニュース、ケーブルテレビ、映画、遊園地ということですが、営業利益の 68%で 30%以上上昇しています。この四半期全体で、このセグメントの利益は 13%成長しています。通年で見ると、現在の予測では営業利益の約 30%がプライムタイムとテレビ局となり、テレビ制作は約 25%減少するだろうと考えています。この事業のその他の部分の営業利益の約 70%については、約 50%上昇し、通年の営業利益は約 300 万ドルと約 15%の増加になると考えられます。

右側には、2006 年の概要が示されています。詳細な計画は今後 6 週間で行う予定ですが、これは本日の時点で判明しているすべてに基づいた来年の見通しです。プライムタイムの番組とテレビ局とテレビ制作は、約 20%から 25%減少すると思われます。来年前半については、厳しい予測が続きますが、その時点ではもっと良い結果になっていると思います。現在、プライムタイムの番組の再編を行っているところですが、これまでの進捗に満足しています。ラインアップについては引き続き検討中でまだ時間がかかり

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

そうですが、事業のその他の 70%は 10%から 15%増加すると思われます。今年のこの業績に基づいてさらに前進していきたいと思っています。ケーブルテレビは約 20%以上増加、映画は 15 から 20、CNBC、MSNB、遊園地もすべて増加を見込んでいます。12 月にお知らせする 2006 年の全体計画にこの部分をどのように組み入れるかについてはジェフがご説明します。私がお話したのは GE 全体の中での NBC に関する枠組みですが、私たちは現状についても、NBC 全体の今後についても大変満足しています。

第 4 四半期の展望では、セグメントの利益は約 15%減少すると思われ、全体的に番組の再編に重点を置いています。では、ジェフからもう少し説明してもらいましょう。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

キース、ありがとう。では、あといくつかのイニシアチブについてまとめます。7 月に再編された組織についてはご存じかと思いますが、非常にうまくいっています。スタッフは安定して前進しています。このため、優れた人材を活用して、成長、イニシアチブ、実行を推進することができます。リスク管理という社風が維持されており、これによりスピードアップとコストの削減がはかられています。

インフラストラクチャーという観点からすると、私たちは既に世界的なプロジェクトや淡水化のような重要なテクノロジーで進歩を遂げています。インダストリアル事業では、企業への販売に取り組んでおり、オリンピックがその良い例です。コマーシャル・ファイナンスの収益という観点からすると、主要な縦割り構造を継続的に推進することができ、ここでは財務能力だけでなく、業務も向上します。

コストという観点からすると、数年以内にサービス統合からルーフトップ削減、物流の改善、G&A 削減など、数百のプロジェクトで約 10 億ドルのコストを削減したいと考えています。また、ここで費用に関する相乗効果だけでなく、収益に関する相乗効果も達成できると考えており、現在より環境に関する動きが大きくなると考えています。

弊社の展望について言えば、2006 年の詳細な業務計画を開始したところで、これは 12 月に発表します。ここでもキースが説明した通り、1.81 ドルから 1.83 ドル、12%から 14%への上方修正を予定しています。2006 年は 10%から 15%の範囲となると考えています。右側を見ていただくと、これまでご説明してきた重要なセグメントと動きに基づいていることがおわかりになるかと思います。インフラストラクチャー業務は、GE の約 30%です。世界的に堅調な成長と莫大なサービスの受注残、生産性が維持されていることにより、非常に良い状態にあると考えています。今後の成長を考えた場合にも、これは最高の組み合わせではないかと思います。

コマーシャル・ファイナンスは GE の約 25%であり、これも世界的な成長と、弊社の歴史で最も良質な資産を含めた非常に堅実な資産の質に基づいて利益が保持されており非常に良い位置付けがされています。コンシューマー・ファイナンスは GE の約 15%を占めています。世界的なプラットフォームを構築しているため、ここでも非常に堅実な動きがあり、既に多数の買収を完了しています。（不明）2006 年の通期業績予想は 2005 年と同様で、これは来年に向けて非常に良い動きになります。

インダストリアル事業についても、ほぼ同じ予測をしています。つまり、会社全体の約 10%で利益幅は引き続き拡大し、生産性も高いということです。これらの事業について最も利益の大きくなる時代が来ると考えています。ヘルスケアも、ほぼ同じく、会社の約 10%を占めています。堅実な収益の成長は、グローバル化により、そして、私たちが非常に優れた市場で技術的観点からも非常に優れた分野だと考えている、多様化されたヘルスケアのフランチャイズにより推進されています。キースが NBC ユニバーサルについても話してくれました。弊社の利益の 10%、プライムタイムの問題に対処するため、若干横ばいになるかと思いますが、ポートフォリオのバランスについてはパワーがあります。ここでも、弊社は第 4 四半期に向けて、堅実な受注率、サービス受注残、非常に優れた資産の質とキャッシュフローを見込んでおり、これらすべてが今後に向けて、大きな柔軟性を提供してくれることでしょう。

最後に、簡単にまとめます。ハリケーンにより、この四半期には若干のボラティリティーがありますが、2005 年で実現していききたいと思います。これは、GE 全体のパワーを示しています。サービス受注残、会社の世界的な位置付け、事業内容のすばらしさを考えると、2006 年も継続的な業績が見込まれていると考えています。生産性も上がっています。これらすべては未来の予兆となると思います。つまり、非常に資本効率が良いということです。親会社により保証された負債を返済すると、どの程度のキャッシュフローを拡大できるかについては、常にお話ししてきました。また、そのキャッシュフローをシェア拡大に使えば、財務上の柔軟性も大きく向上し、バランスシートも強化されるということもお話ししてきました。私たちにはトリプル A という評価、素晴らしい社員たち、そして素晴らしい社風があります。利益と来年に向けたわかりやすい展望を作成してくれたチームを誇りに思っています。では、ビルに引き継いで、質問に答えてもらおうと思います。

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ビル・ケアリー - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ジェフ、キース、ありがとう。では、レイチェル、質疑応答に移ってください。

質疑応答**オペレータ**

（オペレータの指示）シティグループのジェフリー・スプレーグさん、お願いします。

ジェフリー・スプレーグ氏 - シティグループ - アナリスト

ありがとうございます。皆さん、おはようございます。ジェフ、キース、できれば原価とインフレの問題をもう少し掘り下げていきたいのですが、まず、価格と費用に関するコメントを見て、少し明確にして欲しいのは全社ではどうなのか、家電とプラスチックだけの場合はどうなのかということです。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

NBC を除いたインダストリアル事業すべてということですね。

ジェフリー・スプレーグ氏 - シティグループ - アナリスト

私の理解が正しければ、電力に関して価格は 8%下落したとおっしゃっていると思います。この大部分は、かなり前からの受注残のようなものではないかと思うのですが。注文控元帳での価格設定はどうなっていて、黒字転換はいつ頃とお考えでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

世界的なエネルギー価格のプレッシャーは引き続き予測しています。この四半期、受注台数については、価格では約 14%減少しています。この分野は非常に競争が激しくなっています。台数に関しては、コストと競争力に取り組んできたバブル前の時期に戻って現状が続くと考えています。サービスとオイル&ガスの価格設定は非常に良好だと考えていますが、ガスタービンの台数については、世界的に非常に競争が激しくなっています。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

2002 年頃、バブルの終わり頃に戻るとなると、価格設定は下がり、台数は 60 台から 80 台で安定するのではないかと思います。実際、私たちが予測していたより、現在の台数は多くなっていますが、キースの見解では、価格設定については競争が引き続き激しいため、ガスタービン事業は数億ドルのレベルで横ばいになるだろうということでしたが、サービスモデルは堅調ですから、この事業が今後進んでいけば、非常に魅力的なものになるだろうと考えています。

ジェフリー・スプレーグ氏 - シティグループ - アナリスト

このトピックのフォローアップとして、もう 1 つ挙げておきたいと思います。受注については、非常に良好のようです。これは、一般的な意味で、会社全体についてということですが、誰もが予測しているコスト圧力に対して、御社が市場で進めてきた価格設定措置に対して、ニーズのネガティブな反応の兆候はないとお考えでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

プラスチックと家電について言えば、少しシェアが減ったかもしれません。私たちは、利幅率を若干重視してきましたが、世界的に、純粋な受注率を見ると、現在、非常に堅調です。これは 10 月も含めてということです。中国市場の透明性は、プラスチックな

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

どの事業では世界的に最も高いのですが、中国でのプラスチック事業の受注は、これまでより高い価格でも 50%、60%増加しています。ですから、まだ大きな逆風は予測していません。

ジェフリー・スプレーグ氏 - シティグループ - アナリスト

よくわかりました。ありがとうございました。

オペレータ

ゴールドマン・サックスのディーン・ドレーさん、お願いします。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

プレスリリースで、引き続き、投資家の皆さまにキャッシュを還元できる方法を模索したい、という興味深い意見を述べておられましたが、これについてコメントをいただきたいと思います。どのような方法を考えておられるのでしょうか。いくつか推測がありましたし、パートナーシップやかなり昔からのインダストリアル・ビジネスについても言われていましたが、現在は、どのような状況でしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

注釈を見ていただければおわかりかと思いますが、実際、私たちはインシュアランスとインシュアランス・ソリューションに引き続き注力していくという以外、ポートフォリオ自体の動き、ポートフォリオに関する大きな動きには期待していません。常に私たちがお話ししてきたのは、会社の資本の効率性です。200 億ドルを超える営業活動からのキャッシュフローがあり、資本支出が 30 億ドルであれば、その差分は企業のパワーになります。配当を考え、株式買い戻しを考え、そして、最後に、その時点でインダストリアル関連の買収を考えるのがタイミングとして非常に適切だと思います。言い換えれば、この会社を内部的に 8%成長させているということになります。これを促進するために、多数の取引が必要なわけではありません。ですから、その意味で、私たちはチャンスに乗じることができるのです。この 200 億ドルと 30 億ドルの差分で、投資家にさまざまな還元ができると考えています。既にお話ししたインシュアランスとインシュアランス・ソリューションへの注力だけでなく、その他のインダストリアル事業のポートフォリオも引き続き効率性を高めていきたいと考えています。

ディーン・ドレー氏 - ゴールドマン・サックス - アナリスト

インダストリアル事業で、タイミングに乗じた買収を考えておられるとのことですが、戦略的な成長プラットフォームが多数ある中で、それは、ウォーター・セキュリティ、オイル&ガスサービスのいずれでしょうか。評価が若干不安定なものもあるようですが。期待より低かったものや、事業の展開はありましたか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

そうですね。昨年末にいくつか買収を行った時、これで、この分野の市場で独力で成長できる余地ができたのだから、時の流れでタイミングに乗じようというお話をしました。まだ、実際には終わっていませんし、これらのプラットフォームは引き続き、長期間、利幅もキャッシュフローも利益も満足できる状態で内部的に成長させることができると考えています。

オペレータ

クレディスイスファースト ポストン証券のニコル・パレントさん、お願いします。

ニコル・パレント氏 - クレディスイスファースト ポストン証券 - アナリスト

規模としては大きくはないと思いますが、IDX Systems に関する戦略について少しお話いただけますか。確か、昨日、Alliance Imaging が、画像機器の生産能力が過剰だと話していたような気がします。そのような動きを感じておられますか。

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

まず、弊社は常にヘルスケア関連の IT スペースを追求してきました。これは 1998 年に開始しています。実際、臨床で開始した戦略を追求して、企業に組み込みました。放射線学、心臓病学などといった分野で成功しています。IDX から得たものは単なる事業の構築ではなく、収益の大部分がサービスだという点でした。世界的なチャンスが獲得できましたし、実際、非常にうまく相補的に機能しています。実際、重複する部分はありませんし、業界の他の企業と同じように IT 製品を幅広く提供してくれますし、この市場も引き続き成長すると考えています。

Alliance Imaging については、MR で見るとヘルスケア行の病院と診療所の間の相互作用があると思いますが、おそらく 18 か月は前に、診療所事業については生産能力過剰で低下傾向にあるとお話したのではないかと思います。ただ、アメリカの画像診断市場に関する全体的な受注額は、一桁半ばから後半という数字になると考えています。これは悪くない数字だと考えています。

ニコル・パレント氏 - クレディスイスファースト ポストン証券 - アナリスト

ありがとうございました。ヘルスケアについて、あと 1 つだけおうかがいしたいのですが、第 4 四半期については、季節性と事業の推進要因を考えると、現状 20%以上ということですが、第 4 四半期に開始するバイオサイエンスについてはどうでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

一桁後半の収益という、今年のこれまでと多かれ少なかれ同じペースで継続すると私は考えています。営業利益の成長も、おそらく、事業全体と同程度になると考えています。もっと具体的な内容については、ビルとジョアンナに説明させましょう。

オペレータ

ベアー・スターンズのピーター・ネズヴォルドさん、お願いします。

アン・ドウィグナン氏 - ベアー・スターンズ - アナリスト

こんにちは。アン・ドウィグナンとピーターです。私の質問は、第 2 四半期の受注の成長についてです。全体的な受注の成長は 13%、この四半期について収益は 9%ですが、受注の成長は 11%と報告されていました。前四半期比で、この受注の変化をどう解釈すべきでしょうか。受注が収益より大きいのは、良い動きだと考えることもできますが、時系列で考えると、受注の成長が鈍化しているとも考えられます。今後、前進するにあたって、どう考えるべきでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私の感覚では、受注も動きもかなり期待に近い状態だと思っています。キースがご説明した受注の成長に関するチャートに戻って、1 つ 1 つ取り上げると、主要な機器の受注は鈍っていますが、全体的な増加を見ると、15%から 20%の間で継続しています。また、これらの要素には真のパワー、世界的なパワーがありますから、必ずしも低下しているとは考えていません。

実際、サービスは加速しています。サービスは実際増加していますし、製品とサービスの顧客による利用が増えていることを示しています。ですから、これは活動全体に関する良いバロメーターだと考えています。フローの受注額は、これまでとあまり変わらない水準です。第 2 四半期について私がお話したことをここでも繰り返しますが、これらのセグメントについては利幅率を非常に重視しています。ですから、場合によっては、GE の受注に関する予測より市場全体の成長が若干早くなるかもしれません。弊社が現在行っている事業と、会社のグローバルな性格を考慮すれば、減速と呼ぶような状況は認識しておりません。

アン・ドウィグナン氏 - ベアー・スターンズ - アナリスト

エナジー事業に関して少しおうかがいしたいと思います。中国のエナジー事業に関する受注の成長と収益の成長について少しお話いただけますでしょうか。御社のヨーロッパの競合企業では、ここ数か月の中国での受注獲得について色々取りざたされているようですが、何が起きているのかお話しいただけますでしょうか。

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

この事業の通期業績予想は約 15 億ドルということです。具体的な数字はありますか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

中国ではこの四半期に収益で約 3 億 700 万ドル、約 2 億ドルの受注がありました。エナジー事業は引き続き好調だと予測しており、オイル&ガス事業については大変好調な四半期でした。東西ガス・パイプラインで、最大のパイプライン受注がありました。中国でも素晴らしい四半期でした。受注合計は約 1 億 9000 万ドル、オイル&ガス事業で 2 億 4400 万ドルというのは大変素晴らしい成果でした。オイル&ガス事業とエナジー事業全体で見ると、中国での受注は非常に良好です。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

エナジー事業全体で通年 15 億ドルという方向で進んでいますが、中国では通年で会社全体で 50 億ドル強と考えています。

ピーター・ネズヴォルド氏 - ペアー・スターンズ - アナリスト

コンシューマー・ファイナンスについて簡単に質問してよろしいでしょうか。ピーター・ネズヴォルドです。コンシューマー・ファイナンスの利幅は、私たちの予測について言えば、この四半期若干低かったように思われます。10 月 17 日の破産期限の影響を数値で示していただけませんか。何らかの影響はありますか、また、その影響は続くと考えておられますか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

影響は非常に小さかったです。破産を前倒しにしたことによる四半期への影響は、2000 万ドル未満だと思います。10 月 17 日を過ぎれば、第 4 四半期での数字はさらに小さくなると思います。事業全体で見れば影響は小さいですが、確かに対処が必要な事項であり、チームはうまく切り抜けてくれたと思います。

オペレータ

バンクオブアメリカ、ドン・マクドゥーガルさん、お願いします。

ドン・マクドゥーガル氏 - バンクオブアメリカ証券会社 - アナリスト

Jackson と配当支払率に関する質問です。今年の EPG だったと思いますが、配当支払率は親会社経由で 50%を考慮しているとおっしゃっていたと思います。まだ 40%を超えたところです。色々とお考えがあるかと思いますが、どのように決断をされるおつもりかお聞かせいただけますか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私たちが構築しようとしてきたのは、堅実に成長し、利回りの良い金融サービス事業です。現在のコマーシャル・ファイナンスとコンシューマー・ファイナンスを見ると、どちらも ROE で確実に 20%を超えています。ですから、最終的には 20%から 25%の ROE で年間 10%から 15%成長する事業だと考えており、配当支払率を考える場合には、40%から 50%と若干フレキシブルになるかと思えます。現時点では 40%と期待していますが、総資本収益率の成長を伴った二桁成長を維持できるよう、常に方法を模索しています。その 1 つの方法は、金融サービス事業の ROE と配当支払率に引き続き注目することですが、私が非常に満足しているのは、これらの金融サービスの重要なセグメントで、弊社の ROE が傑出しているという点で、これが私の持っている重要な数字です。

ドン・マクドゥーガル氏 - バンクオブアメリカ証券会社 - アナリスト

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

航空事業に話を移したいのですが、既にお話になっていたら申し訳ありません。そうであれば、私が聞き逃していたのだと思います。航空機エンジンとアビエーション・サービス（航空機リース事業）の利幅はいずれも第 2 四半期から続けて減少しています。ノースウエストとデルタに関連しているのではないかと思います。これは第 3 四半期の利幅に影響しているのでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

いえ、ご覧いただければわかりになると思いますが、エンジンの営業利益率はこの四半期で 19.4%から 20.1%に上昇しています。どこから引用された数字なのか、ビルに調べさせましょう。サービス事業は引き続き拡大を予測しており、実際、この四半期の利幅は増加しています。この四半期、エンジン事業自体にノースウエストやデルタからの影響はありません。私がお話した唯一の影響は、GCAS 事業に関するものです。

ドン・マクドゥーガル氏 - バンクオブアメリカ証券会社 - アナリスト

エンジン事業は、確かに昨年比では増加していますが、連続して減少していました。何かあったのでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

第 3 四半期には多少の景気循環があったかもしれませんが。実際、前年比では、ここで見てきた通りです。

オペレータ

リーマン・ブラザーズのボブ・コーネルさん、お願いします。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ証券株式会社 - アナリスト

コマーシャル・ファイナンス事業はこの四半期莫大な金額になっていますが、ジェンワースやカトリーナ、キースさんが話しておられた税制優遇措置やノースウエストの準備金など、一時的な要素が多くなっています。モデリングのため、コマーシャル・ファイナンスで他に一時的な要素があれば教えていただけますか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

モデリングのための一時的な要素ということ言えば、株式取引で SES の株式を一部売却しています。この四半期については、税引き後で約 1 億ドルです。突出していると言える項目はこれだけです。その他は、通常の流れの中で行われているような業務です。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ証券株式会社 - アナリスト

その点について、不動産ポートフォリオで突出しているものはありますか。この点については市場を活用しておられたと思います。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

（聞き取り不能）数年前に Security Capital について行った買収の大部分がそうだったと言って良いと思います。この売却は、第 3 四半期に完了しました。不動産について言えば、ポートフォリオ全体の売買高は 50%上昇しており、弊社は常に色々な場所で資産を移動させています。ですから、これも通常の業務の流れであり、その事業に関して完了した資産の売却であると考えています。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ証券株式会社 - アナリスト

もう少し大局的な考え方として、ジェフが話していた内容に戻りますが、フロー事業は、受注額が 5%増加といった形で上昇しています。9 月のカトリーナ後のフロー事業についてはどうお考えですか。また、第 4 四半期について話されていた 10%のインダストリアル事業の成長率とはどう関連してくるのでしょうか。

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

保険で補填されないこと、と言って良いと思います。おそらくカトリーナで全社で 8000 万ドルくらいかかるのではないかと思います。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

資本と税引き前のインダストリアル事業を含めたポートフォリオ全体です。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

利幅に関してですが、ゼロではありませんし、実際、9 月後半から 10 月にかけて若干収益を失ってはいますが、受注率はきわめて堅調です。単にこの分野の再編のみを見ると、記憶装置、変圧器修理、仮設電力などといった観点からエクイップメント・サービスについて考えると、大量に完売しており、会社にとっては原材料過剰にならず、ギリギリでプラスというところです。

ボブ・コーネル氏 - リーマン・ブラザーズ証券株式会社 - アナリスト

経済がどのように影響したかについて、カトリーナに関して安定したかどうか、また、カトリーナ後のエナジー事業について何かご意見はありますか。それとも、まだこれについて話されるのは時期尚早だとお考えでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私たちの見解は、あくまで GE の観点によるものです。大規模な弾力性のある経済だと考えていますし、エネルギー連鎖、天然ガスなどの短期的な影響を除くと、世界的な経済活動は非常に好調だと考えています。

オペレータ

JP モルガンのスティーブ・トゥサさん、お願いします。

スティーブ・トゥサ氏 - JP モルガン - アナリスト

ヘルスケアとその他のインダストリアル事業の一部だけを見ると、年初にこれらさまざまなセグメントについていただいた予測は、新しいセグメントの構造では異なってきたように思われますが、第 4 四半期に 20%をどのくらい超えるかによって、予測された 280 億ドルという営業利益に少し届かないのではないのでしょうか。運輸、GE、鉄道について何を除くかによりますが、この点については、若干軽視されているように思われます。全体的に言って、インダストリアルについては若干伸び悩んでいると言って良いのではないのでしょうか。

この傾向が続いた場合、どの時点でポートフォリオの構造を再評価されますか。ジェンワースについては、大成功でした。ここで莫大な報酬を獲得されています。インダストリアル事業からの堅調な上昇傾向なしで、10%から 15%の収益の成長というのは市場に対して十分でないと感じですか。また、金融ビジネスの中核部分について何か対策をとられるおつもりですか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私はその前提自体に、賛成できかねます。私はヘルスケアは計画通りに進んでいると申し上げたいと思います。運輸は計画通りに進んでいます。昨年 12 月にお知らせした見通しを下回っている唯一のインダストリアル事業は、NBC ユニバーサルではないのでしょうか。ポートフォリオ全体を見れば、インフラストラクチャーが 17%増加、インダストリアルが 56%増加、ヘルスケアが 17%増加しています。これらは全般的に良い数字で、2006 年にも全般的に良い数字になるでしょうし、第 4 四半期も全般的に良い数字になるでしょう。ですから、今年に関して以前にお話した通り、ポートフォリオの状態について満足しています。インダストリア

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ルと金融は 50 対 50 になるでしょう。インシュアランス・ソリューションの売却が続けば、インダストリアルが 50%を超え、金融が 50%を下回るかもしれません。

スティーブ・トゥサ氏 - JP モルガン - アナリスト

では、今後、現行の製品で業績を高めていけば市場が評価するとお考えなのでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

インフラストラクチャーでは収益が 12%、営業利益が 17%増加、インダストリアルでは収益が 8%、営業利益が 56%増加、ヘルスケアではそれぞれ 7%と 17%増加しています。これは非常に良い業績で、この四半期については収益が 9%増加して、EPS は 15、16%増加しています。非常に良い数字だと思います。

スティーブ・トゥサ氏 - JP モルガン - アナリスト

正当なご意見ですね。ありがとうございました。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

受け身になっているわけではないですよ。

スティーブ・トゥサ氏 - JP モルガン - アナリスト

そうですね。私もそう思います。

オペレータ

メルリリンチのジョン・インチさん、お願いします。

ジョン・インチ氏 - メルリリンチ - アナリスト

アメリカの航空会社への供給について話を戻したいと思います。破産が起こったことでノースウエストへの供給についてはどうなるのでしょうか。特に、2006 年の展望については、どう考えるべきでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

私たちの見解では、非常にうまくいっていると思います。多数の航空会社が参入して、さらにデルタやノースウエストが参入するのを見てきて、この四半期、私たちはこの 2 社に対して、できる限りのことを行ってきました。私たちは優先債権者で担保もあり優れた資産を持っています。現在の課題は、これらの航空会社の資産を獲得していくことです。世界的に大きな需要があります。現在の弊社の位置付けに非常に満足しています。申し上げた通り、税引き前で約 1 億 6400 万ドル、ノースウエストに対する税引き後の余剰金は 1 億ドルです。現在、ノースウエストと交渉中です。信用調査委員会によって、ノースウエストからどのくらい獲得できるかがわかります。弊社のリスク・ポジションに対して適切な準備金があると考えていますので、他の業者についても安定した地位であると考えています。

ジョン・インチ氏 - メルリリンチ - アナリスト

少し、内部成長についてうかがいたいのですが。第 4 四半期に対して 10%投入されています。これは、会社の内部成長の約 10%と解釈して良いのでしょうか。また、2006 年についてご提示いただいた内容では、非常に素晴らしい成長が見込まれていますが、このコールで話されていたいくつかの事項について、いくつか難しい補填があるように思われます。

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

ここでお伝えしたかったのは、第 4 四半期についても 8%前後を見込んでおり、通年でも 8%を見込んでいるということですが、来年の S2 計画についてはこれからです。セグメントについて言えば、内部成長と NBCU に関して 8%以上のセグメントは 5 つあり、年の前半の格付けに対するプレッシャーなどについて対処していきます。イニシアチブについては、まだ時期尚早ですが、分解すれば、内部成長とはアウトプットのようなもので、インプットとはサービス、グローバリゼーション、新製品です。これらは非常に健全で、この動きは継続するでしょう。

ジョン・インチ氏 - メリルリンチ - アナリスト

8%という数字を維持していることに満足しておられますか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

ええ、とても満足しています。

ビル・ケアリー - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

レイチェル、だいぶ長くなってきたので、次の質問で最後にしようと思うのだが。

オペレータ

わかりました。皆さん、最後の質問は、モルガン・スタンレーのスコット・デーヴィスさんからです。

スコット・デーヴィス氏 - モルガン・スタンレー - アナリスト

簡単に 2 点うかがいたいと思います。まず、ドリームワークスとの取引を見送られたという記事を読みましたが、オイルサービス取引についても見送られたという噂があります。現在、適切な価格と適切な利益が得られると確信できるものにより焦点を当てて、意図的に選択するという投資サイクルにあるのでしょうか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私たちは常にそうありたいと考えてきました。私たちは、戦略的な感覚で良い利益を上げるという、取引に関する現在の会社の状態に満足しています。

スコット・デーヴィス氏 - モルガン・スタンレー - アナリスト

非常にフェアな姿勢だと思いますが、12 か月前、18 か月前には、もっと大きな利幅を目指しておられたように思えます。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

私たちは常に今行っており、将来も継続していく事業に投資をし続けたいと考えていますが、現在のポートフォリオは非常に良い状態だと考えています。現在行っている事業に満足していますし、現在行っている事業は、この高い一株の収益成長を生み出せるものだと考えています。ですから、買収した企業に対して、チャンスを待ちつつ戦略的でいられると思っています。

スコット・デーヴィス氏 - モルガン・スタンレー - アナリスト

2005 年 10 月 14 日午前 8 時 30 分, GE - 2005 年度第 3 四半期収益コンファレンス・コール

御社の資本収益率の目標が 20%という点に興味をそそられます。どうやって達成できるとお考えですか。利幅、資産の展開、レバレッジという 3 つの組み合わせによるものでしょうか。それとも、たとえば、極端な値上げによる利幅、アマルシャムやユニバーサルのように、実質的に高い利益を生み出すような買収を増加させるといった、単一の要素によるものでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

まず、第一に、私たちは会社を成長させなければなりません。ですから、全社で 8%の内部成長というのが全社的なイニシアチブに向かって会社が進んでいくことがとても重要なのです。この成長により、私たちは総収益を拡大するだけでなく、さまざまな生産性というイニシアチブに対処し、利幅を増加させ、資本を還元できるような価格のトレードオフを行います。配当と株式買い戻しを見れば、総資本収益率を継続的に増加させる素晴らしい方法であることがわかります。これについては、戦略計画を通じて毎年 1 ポイント強を目指しており、総資本収益率については 20%を目標にしています。

スコット・デーヴィス氏 - モルガン・スタンレー - アナリスト

それにはインダストリアル事業の若干のレバレッジの増加が含まれているのでしょうか。

キース・シェリン - GE-シニア・バイス・プレジデント（財務担当）兼チーフ・ファイナンシャル・オフィサー

含まれていないと思います。負債レベルで約 100 億ドルで、おそらく、会社の成長に伴って、若干これより増加するかと思います。これはトリプル A の枠組みであったと思いますし、私たちはここに注力しています。

ビル・ケアリー - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ジェフ、何か最後にコメントはありませんか。

ジェフ・イメルト - ゼネラル・エレクトリック CEO

改めて申し上げますが、第 4 四半期以降について、投資家の皆さんへの公約という点で会社は非常に良い位置付けにあると考えています。私は GE チームの第 3 四半期の業績について大変誇りに思っていますし、会社は大変良い状態にあり、今後も素晴らしい状態が続くと考えています。ビル、ありがとう。この難局を切り抜けられるのは皆さんのおかげです。ありがとう。

ビル・ケアリー - GE - インベスターコミュニケーションズ・バイス・プレジデント

ありがとうございました。ジェフ、キース、ありがとう。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。本日のディスカッションの資料は、ウェブサイトでご覧いただけます。来週初めには、本日の議事録も掲載します。全世界の投資家の皆さんのために、7 か国語で掲載致しますので、来週にはご覧いただけると思います。この会議の録音は、本日の午後から 14 日間ウェブサイトでお聞きいただけます。コールイン番号は www.GE.com/investor でご確認ください。ご質問があれば、ジョアンナと私がお答えします。皆さん、ありがとうございました。

オペレータ

皆さん、これで今回のコンファレンス・コールを終了します。本日はご参加いただきありがとうございました。接続をお切りください。

お断り

トムソン・ファイナンシャルは、ウェブサイトに掲示した文書、内容などの情報を変更する権利を保有し、この変更についていずれの個人にも通知する義務はありません。

イベント議事録の対象であるコンファレンス・コールでは、企業は各種の事案について提案などの前向きな主張を行うことができます。この前向きの主張は現在の展望をベースとしますが、危険や不確実性が伴うこともあります。実際の成り行きは、さまざまな重要な要因やリスクに基づいて行ったり、展望についての言明とはかなり異なったものとなることがあります。なお、これらの要因やリスクについては、各企業の最新の SEC ファイルで詳細を確認できます。各企業は、展望についての言明の基礎となる仮定事項の妥当性を明示し、またこれが妥当であると考えていることもあります。このいずれかの仮定事項が不正確または防いだと判明することもあるので、展望についての言明で想定した結果については、その実現可能性についての保証はしません。

議事録に盛り込まれた情報は、該当企業の意見交換内容を文字で表示したものであります。正確な議事録とするよう努力していますが、コンファレンス・コールでの報告内容については、重大な間違い、脱落および不正確が発生する可能性があります。トムソン・ファイナンシャルまたは該当企業は、当該ウェブサイトないしは議事録に基づいて行った投資決定などについて、一切責任を負いません。ユーザーにおかれましては、該当企業のコンファレンス・コールおよび SEC ファイルを吟味のうえ、投資などの決定を行うようお願いいたします。

© 2005, トムソン・ストリートイベントスが著作権を所有します。